



令和3年度

園だより 10月号

福) 五和会
保育所型認定こども園
五和保育園

コロナ感染が島田市でも、急激に増え、毎日ハラハラドキドキした9月でした。

9月末に緊急事態宣言がとかれ、10月2日の運動会ができるのを祈りながら、園内では子ども達と、楽しく運動遊びを繰り広げてきました。

今日は、その中の一場面を切り取りながら、子ども達の姿から、私たちは「何を読み取り」「子ども達の力をどう育もうとしているか」紹介しようと思います。



なぜ負けた？！ ばら組の子ども達



「夢中になる」「ムキになる」は「様々な力」を発揮させる原動力

10月2日に行われる運動会のリレーに向けて、作戦会議を開き、毎日のリレーごっこで泣いたり笑ったりの年長の子ども達。まずは、子ども達の連帯感・共感力を高めようと、短い距離でボールを運び終えたところで勝負が決まるリレーをやっていました。

その日は、ばら組が快調にとばしていたのですが、なぜか黄色い球は無くならず、結果ビリになってしまったのです。「今日はばらが負けちゃったね」と、今日のリレーごっこを終わりにしようと、保育士が片付けを始めようとした時です。



負けたばら組の子たちが、何か丸くなつて球のところで話しているのです。片づけるのをやめて、少し様子を見ています。すると、みんなでしゃがんで、球の数を数えました。「1、2…22」「こっちは？」と、他のクラスの球の所に走っていき「1、2…」「20だ！」「えー、球の数が違う！」私たち保育士達も、準備してくれた保育士がきちんと数えてくれたと思っていたので、その事実にビックリ。負けた原因を見つけ、鼻の穴を膨らませて、保育士に訴えるばら組の子ども達。

すると、準備した保育士が「ちゃんと20個ずつ数えて、残りの2個をこっちに避けておいたのに、なぜか無くなっていました。誰か入れたのかしら」と困った顔で戻ってくるのです。



原因を突き止めた子ども達の「強い気持ち」と「その力」にビックリした事件でした。

さあ、このエピソードから、子ども達はどんな学びをしているでしょうか。



- ・その原因が、球の数ではないかと探し出す力。「規範とは何かの芽生え」
- ・どうして負けたのか考える「思考力の芽生え」
- ・球の数を数える「数量への関心感覚」
- ・「負けておかしいよね」「数かぞえようよ」という「言葉による伝え合い」

そして、何より「夢中になる」「ムキになること」が、様々な力を発揮させる原動力になることを私たちに教えてくれた子ども達のエピソードでした。

私たち就学前の保育園幼稚園こども園は「幼児期の終わりまでに育つて欲しい幼児の具体的な姿」として、この「10の姿」を具体的にイメージして一人ひとりの姿を小学校に伝えております。

私は上のエピソードから、左の4つの力を読み取ったのですがいかがでしょうか。
子ども達の中で、どうしても勝ちたいという思いが強くなり、リレーをやっていく中で負けている感覚がなかったのに負けた。



10月の行事

園の行事

1	金	
2	土	幼児運動会・個人面談（4.5歳児） 3歳児が8：15登園開始、4・5歳児が9：20登園開始です。時間厳守をお願いします。
3	日	
4	月	
5	火	体操教室（年中・年長）
6	水	9：30～内科健診  秋の健診は1回です。なるべくお休みしないで受診してください。  PMミニコンサート（4.5歳）  音楽大好きっ子つくり委員会が、各クラスを回ってミニコンサートを行います。
7	木	ミニコンサート（0～3歳） 
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	音楽教室（年中）
13	水	秋の遠足 秋の自然にふれ、歩くことを楽しみます。各年齢で出発時間、目的地が違います。お弁当お菓子もご用意下さい。 
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	体操教室（年中・年長）
20	水	杉本管理栄養士（0歳3歳対象）
21	木	
22	金	年長児興味活動 年長さんが自分たちで企画し、実行する場を計画します。この日は、夕方遅くまでの活動となります。
23	土	PTA奉仕活動（2歳児） 用水路の掃除、園内の除草をお願いします。
24	日	
25	月	
26	火	音楽教室（年長）
27	水	ぴかっと教室（年長） 
28	木	
29	金	
30	土	